

絵をみて分かるインターネット技術の基礎 インターネット検索と広告

インターネットのしくみについて、基礎から分かりやすく解説します。

高橋 誠

Takahashi Makoto

システムエンジニア

株式会社アंकにて、システム開発の傍ら、『Cの絵本(第2版)』(翔泳社、2016年)を始めとするIT専門書の企画、監修、執筆を行っている。

今回は誰もがよく利用する検索サイトと、Webサイトでよく見かける広告のしくみを紹介します。

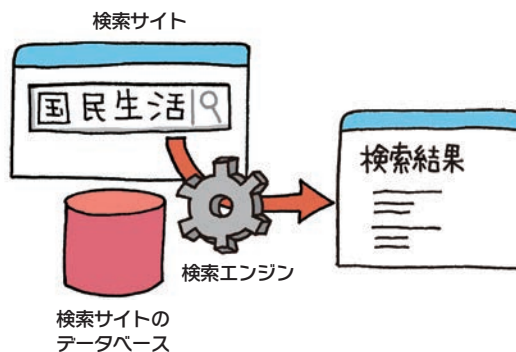
検索サイト

インターネットで調べものをするには検索サイトを使います。そのしくみについて見ていきましょう。



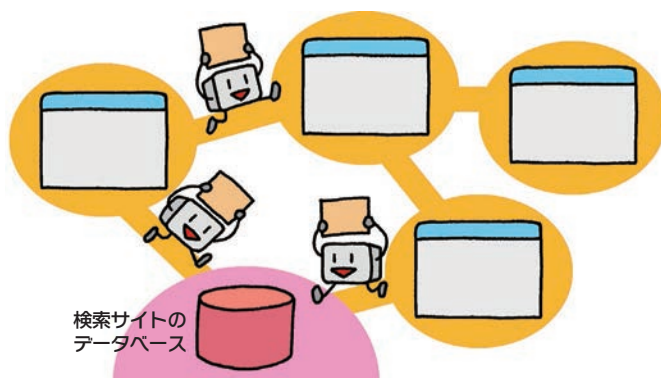
検索サイトは世界中のWebサイトの情報が集まっているサイトです。キーワードを入力すると、そのキーワードを含むサイトの一覧が表示されます。検索サイトの中で、検索を行うシステムのことを検索エンジンといいます。

以前は各サイトが独自の検索エンジンを実装している例もありましたが、近年はGoogleを始め、MicrosoftのBingなどの大手の検索エンジンを採用する例が増えていきます。例えばYahoo! JAPANはGoogleの検索エンジンを採用しています。



● 検索ロボット

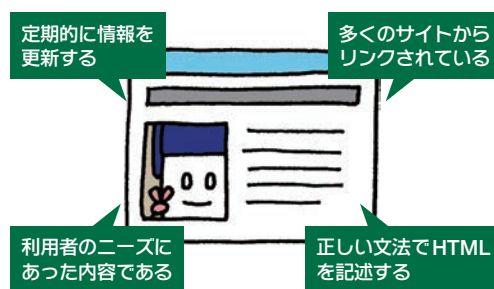
検索エンジンの運営団体は、世界中のWebサイトのリンクを自動的にめぐるプログラムを使って、Webサイトのデータを収集しています。このようなプログラムのことを検索ロボットといいます。また、データの収集のためにWebサイトを巡回することをクローリングといいます。



● SEO(Search Engine Optimization)

検索結果の並び順は検索エンジンのアルゴリズム(処理手順)で決まりますが、Webサイトの運営者にとっては、自身のサイトがより上位に表示されることが訪問者の増加につながり、大きなメリットがあります。

検索結果が上位に表示されるようにする一連の工夫のことをSEOといいます。



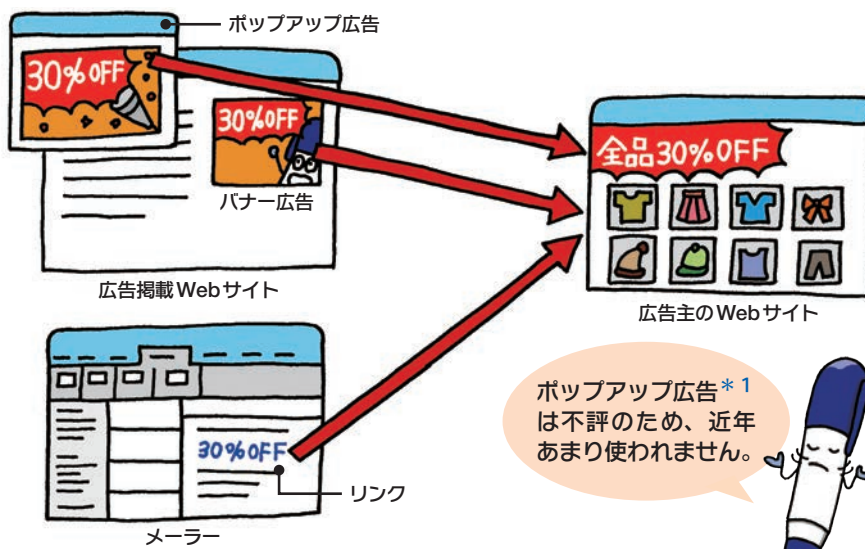
SEOの例

インターネット広告

インターネット上の広告は、いまや街頭広告や雑誌広告など同様の影響力があります。

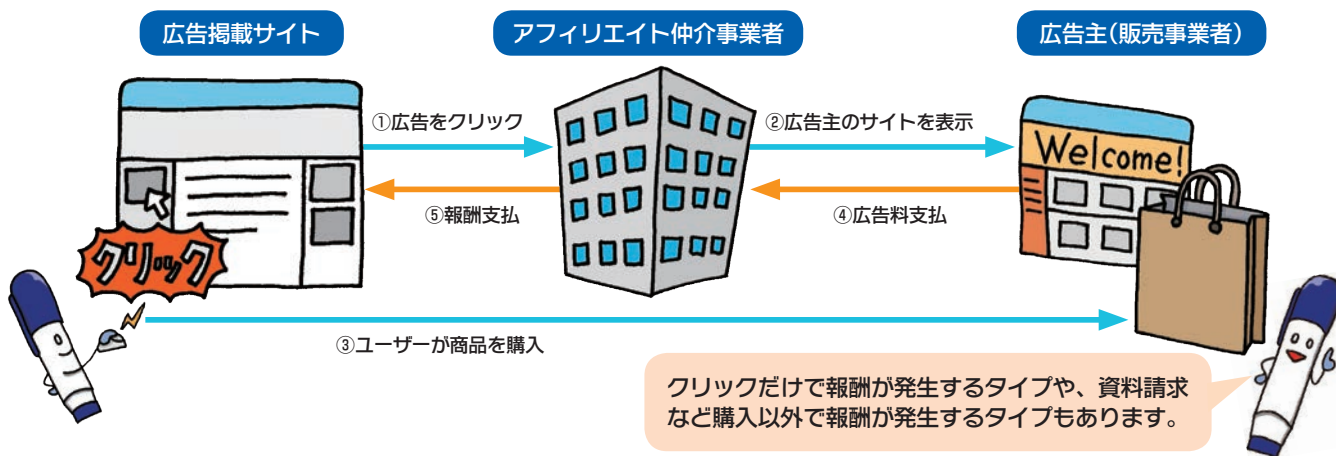


Webサイトやメールに掲載される広告のことをインターネット広告といいます。リンクをクリックすることで広告主のWebサイトへジャンプします。



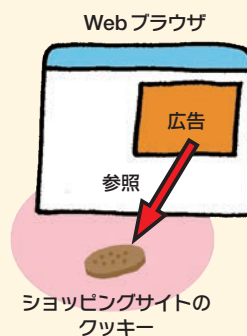
● アフィリエイト

Webサイトに掲載された広告をクリックしたり、その広告経由で商品の購入に結び付いたときなどに、広告掲載サイトに報酬が支払われるしくみをアフィリエイトといいます。これにより、広告主はより多くのWebサイトに広告を掲載してもらうことができます。



好みの広告が出てくるしくみ

ブラウザでWebサイトを訪問すると、広告欄に過去にショッピングサイトで閲覧した商品や同じジャンルの商品などの広告が出てくることがあります。これは、ユーザーが以前ショッピングサイトを訪れたときにWebブラウザにクッキー*2が保存され、その情報を元にWebサイトの広告欄の表示内容が決定されるためです。クッキーを削除すれば、一般的な広告が表示されるようになります。なお、スマートフォンのアプリなどでは、独自に端末情報などを送信している場合があります。アプリのインストールの際にサーバーに送信される内容をよく確認しましょう。



*1 ページが読み込まれたりボタンをクリックしたタイミングで、別ウィンドウが開いて表示される広告。
 *2 ウェブ版「国民生活」2018年1月号「絵をみて分かるインターネット技術の基礎」第7回「ウェブ閲覧のセキュリティ」
http://www.kokusen.go.jp/wko/pdf/wko-201801_06.pdf